

平成21年第1回竜王町議会臨時会（第1号）

平成21年1月30日

午前11時00分開会

於 議 場

**1 議 事 日 程**

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議第 1号 平成20年度竜王町一般会計補正予算（第6号）

日程第 4 議第 2号 平成20年度竜王町後期高齢者医療特別会計補正予算  
（第2号）

## 2 会議に出席した議員（12名）

1番	岡山富男	2番	大橋弘
3番	村田通男	4番	山田義明
5番	山添勝之	6番	圖司重夫
7番	貴多正幸	8番	蔵口嘉寿男
9番	菱田三男	10番	小森重剛
11番	若井敏子	12番	寺島健一

## 3 会議に欠席した議員（なし）

## 4 会議録署名議員

10番	小森重剛	11番	若井敏子
-----	------	-----	------

## 5 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	竹山秀雄	副町長	青木進
教育長	岡谷ふさ子	会計管理者	布施九藏
総務政策主監	小西久次	住民福祉主監	北川治郎
産業建設主監兼農業委員会事務局長	川部治夫	総務課長	赤佐九彦
生活安全課長	福山忠雄	住民税務課長	山添登代一
福祉課長	松瀬徳之助	建設水道課長	田中秀樹
教育次長	松浦つや子	学務課長	木村公信
生涯学習課長	竹内健		

## 6 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	村井耕一	書記	古株三容子
--------	------	----	-------

(開会 午前11時00分)

○議長(寺島健一) 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、12人であります。よって、定足数に達していますので、これより平成21年第1回竜王町議会臨時会を開会いたします。

会議に入ります前に、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。竹山町長。

○町長(竹山秀雄) 皆さま、こんにちは。本日、平成21年第1回臨時会開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

年明け以降、不順な天候続きですが、議員各位にはますますご健勝にて、日夜議会活動にご専念のこと、大変ご苦労さまでございます。また本日、臨時会を招集申し上げましたところ、何かとご多端の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、百年に一度と言われる大不況の波にさらされ、派遣切りをはじめ期間雇用従業員の契約解除や雇入れ止め等、連日報道されており、年明けからは大手一流企業でさえも正社員の大規模な希望退職募集が打ち出されるといった事態となっております。雇用情勢の深刻さは、もはや社会的・国家的な問題にまでなっておりまいた。国も、ふるさと雇用再生特別交付金等緊急事態対策が講じられておりますが、こと竜王町におきましては、既に操業縮小、生産調整に入っておられる事業所もあり、小規模事業所の方からは、全くといっていいほど仕事が入って来ないという声も聞こえてまいっております。

こうした中で、これからが厳しい局面となって来るものと想定され、いち早く行政として、この非常事態にしっかりとした対応をいたしてまいらねばならないと考えているところでございます。一例であります。過日、善光寺川清流会によります善光寺川環境美化作戦では、多くのボランティアの方々のご参加のもと、大規模な除草、雑木伐採作業を実施していただきましたが、この枯木の処分、残り区域の除草等の仕事を雇用の場にできないものかと検討しているところであります。

一方、昨年10月末から実施いたしてまいりました「まちづくり懇談会」であります。ようやく1月末をもちまして、全自治会を回らせていただくこととなります。懇談会開催に関しましては、自治会長様、また議員の方々にはいろいろとご配慮を賜り、厚く御礼を申し上げる次第でございます。皆

様からの多くのご意見、将来に向かって貴重な提言を頂戴いたしました。私も、はっとする思いをたびたびいたしたところでもあります。

2月末には、まちづくり懇談会の総括と、さらなるまちの発展を期すべく「町民フォーラム」を開催させていただき、しっかりとしたまちづくりへ向け邁進いたす所存であります。

懇談させていただいています中でも一番多いご意見が、町の財政に関するものであります。年頭の知事あいさつでは、滋賀県でも400億の税収減となる発言がありました。まさに未曾有の事態と申せます。竜王町にありましても、申すまでもなく、大手特定企業の業績いかんにより税収に影響が出る実態でありますので、不況の真ただ中にて、住民の皆様はおのずと敏感になられ、ご心配いただいているものと受け止めているところでございます。

このような中、年度末を間近に迎え、平成20年度の決算と翌21年度の予算編成にとりかかりますが、それぞれの数字に対し真摯な姿勢で、その意味と意義をしっかりと分析・精査していかなければなりません。町民の皆様にご理解をいただけますように、最小の予算で最大の効率を得ることを基本にした、緊縮と次世代投資の両面で取り組んでまいりたいと考えている最中でございます。

私は年初の職員訓示で、今の荒波に立ち向うための強い意志と、その意思を維持できる健康な体が大切という話をいたしました。地方自治体にとりまして試練が待ち構えている時、職員はその使命感をしっかりと認識し、自らを投げ打つくらいの取り組みで、まちの皆様方の暮らしを守っていくことを確認しているところでございます。今の厳しい時代にあって、町民1万3,500人の力と知恵を終結し事に当たること、そのものがまちの力であり、まちづくりに向う大きなエネルギーになっていくものと存じます。どうか議員の皆様には、この難しい時期をしっかりと乗り越えられますよう、格段のご指導とご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げる次第でございます。

なお、本臨時議会に提案申し上げます案件につきましては、一般会計補正予算1件と特別会計補正予算1件の2件であります。どうか慎重なご審議を賜り、お認めいただきますようよろしくお願い申し上げ、開会にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。

**○議長（寺島健一）** これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（寺島健一） それでは、日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第118条の規定により、10番 小森重剛議員、11番 若井敏子議員を指名いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第 2 会期の決定

○議長（寺島健一） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日1日限りといたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（寺島健一） ご異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は、本日1日限りと決定いたしました。

それでは、これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第 3 議第 1号 平成20年度竜王町一般会計補正予算（第6号）

○議長（寺島健一） 日程第3 議第1号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。竹山町長。

○町長（竹山秀雄） ただいま上程いただきました議第1号につきまして、提案理由を申し上げます。

議第1号、平成20年度竜王町一般会計補正予算（第6号）につきましては、現在お認めをいただいております補正予算（第5号）までの予算額が5億2,100万円でございます。今回、総額に歳入歳出それぞれ3億8,000万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5億6,100万円といたしたいものでございます。

補正予算の主な内容といたしましては、まず歳入予算では、介護保険事業費国庫補助金が59万7,000円の増額、まちづくり交付金が9,879万9,000円、前年度繰越金が1億6,930万4,000円、町債が1億1,130万円のそれぞれ増額でございます。

次に歳出予算では、施設の老朽化に伴います公用車庫修繕工事が1,000万円の増額、川守地区における地籍調査測量業務委託料が1億3,500

円の増額、国の介護報酬改定に伴います介護保険システム修正業務委託料が126万円の増額、事業内容の見直しにより地域産業研修センター内外装繕工事設計業務委託料が200万円の減額および地域産業研修センター屋根補修工事が450万円の増額、まちづくり交付金関係事業費について、予算科目の調整により事項別明細書5ページの土木費で、道路橋梁費道路新設改良費の賃金・需用費・役務費・委託料、使用料及び賃借料・工事請負費・公有財産購入費および補償補填及び賠償金について合計9,586万8,000円を減額し、事項別明細書6ページの都市計画費都市計画整備費に合計3億6,779万3,000円を増額いたしますが、主な内訳といたしまして、公民館コンバージョン実施設計業務委託料が1,040万円、武道交流会館監理業務委託料が600万円、町道道路改良工事が3,684万6,000円、武道交流会館建築工事が2億4,500万円、用地買収費が5,982万2,000円、武道交流会館一般管理用備品が670万円のそれぞれ増額などがございます。

また、事業費の確定により武道交流会館建築工事設計業務委託料が430万円、地質・土質調査業務委託料が234万円のそれぞれ減額、財政調整基金積立金が1億円の増額などがございます。

次に、地方債補正につきましては、まちづくり交付金事業にかかります事業費の増額ならびに調整に伴い、公民館整備事業債が840万円の追加、道路新設改良事業債が150万円の減額、社会体育施設建築事業債が1億750万円の増額、地域産業研修センター整備事業債が90万円、運動公園整備事業債が220万円のそれぞれ廃止により、減額と限度額の補正をお願いするものでございます。

以上をもちまして、議第1号、平成20年度竜王町一般会計補正予算（第6号）の提案理由を申し上げたところでございますが、よろしくご審議を賜り、ご承認をいただきますようお願い申し上げます、提案理由といたします。

○議長（寺島健一） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。4番、山田議員。

○4番（山田義明） それでは、質問させていただきます。

武道交流会館建設工事の件でございますが、2億4,500万円ということ  
で説明を受けているわけですが、教育民生常任委員会でご説明いただいた時  
には、この建設工事費が2億4,500万円だったということございまして、  
またその後、今日は全員協議会の席で、面積が増えたということで平米当た

り30万円ということをごさいますて、約40㎡増えたということになるわけでごさいます。860㎡から900㎡ということで、これがどのような格好に平米単価が変わったと言うか、平米が変わったわりには金額が変わらない、その理由を知らせてもらいたいなということでごさいます。

もう1点は屋根の件でごさいます。これはたびたび委員会ならびに全員協議会の席でお願いしているわけでごさいます、この件につきまして、非常に屋根の構造につきましては雨漏りがするというので、竜王町の箱ものにつきましては雨漏りの修理が結構たびたび行われているわけでごさいます。この件について教育民生常任委員会では、私は傍聴議員ということでその席でお願いしていたのですが、今日は全員協議会の席でも、寸法的には変わっても屋根の形は変わってないというような説明でごさいますて、そのあと検討するというごさいました、本当にこれ怪しいなということがありまして、それはそれなりにこの議場でしっかりとその件について記録を残したいなと思います。ひとつこの件につきまして、改善するという方向で答えをもらいたいなと思うのですが、よろしくお願ひします。その2点でごさいます。

○議長（寺島健一） 田中建設水道課長。

○建設水道課長（田中秀樹） ただいま山田議員さんから、武道交流会館の建築費の件ということであります。

特にこれにつきましては、今現在、概算的な設計を組んでおるということでありまして、また金額の上限と、補助事業ということがありますので、そういうことも踏まえながらということで、詳細については今後検討していくということで、今はそれに合わせておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願ひいたします。

また、屋根の構造につきましては、今話がありましたように、雨漏りの件ということで、今後これも詳細につきまして今日までの経過を踏まえまして、いろいろな会議の中で検討もして、いろいろなお知恵もいただきたいと思ひますので、これにつきましてもご理解いただきますようよろしくお願ひいたします。

今後、皆さんのご意見の中で進めさせていただきます。以上、お答えとさせていただきます。

○議長（寺島健一） 4番、山田議員。

○4番（山田義明） そうしたら、検討されるということでございますが、皆さんのご意見というのは、どういう皆さんを対象にされるのか、お願いしたいと思います。

○議長（寺島健一） 田中建設水道課長。

○建設水道課長（田中秀樹） 山田議員さんから再度のご質問ということで、こういう場面に人に聞くかということでもあります。特にこれにつきましては、今日までも町民体育館の雨漏りとかあったということで、専門的な意見、またいろいろな利用者の意見も聞くという中において、やっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

○議長（寺島健一） ほかに質疑はありませんか。11番、若井敏子議員。

○11番（若井敏子） それでは、全体のまちづくり交付金という事業の全体について、1点だけ質問したいと思うのです。

それは、今回前倒しということで新たにまちづくり交付金を受けるということで、こういう計画が、特に武道交流会館をつくるということで計画が出ているわけですけれども、5年間のまちづくり交付金事業がある中で、ちょっと早い目に起債をおこすということもあるのかと思うのですけれども、このまちづくり交付金の事業そのものの補助の内容と、償還の計画について、当初、去年の2月段階で一定説明も受けているところですが、改めてお伺いしたいと思うのです。

今回の起債で、町長自身にお伺いしておきたいと思うのですけれども、著長は選挙の期間中も、竜王町の借金は非常に多くて、それを私は減らすのだという話をされていまして、まちづくり懇談会の中でも、私の記憶では5年間で借金を半分にするというふうなお話が出ていたかと思うのですけれども、選挙だったのか、まちづくり懇談会の中だったのか、ちょっと記憶がはっきりしないのですけれども、とにかく借金を減らすという話を公然としておられて、最近のまちづくり懇談会ではそういう言い方は全くしておられないのですけれども、マニフェストとかいうふうなものの中にはそういうお話も書いてあったかと思うのですが、今回新たに相当額の起債をおこすということになりますと、償還の計画も変わってくるのかなと思うのですけれども、その辺には全く変わりがないのかと。町長自身が借金を減らす計画をどのようにお考えになっていらっしゃるのかということにあわせて、今回の起債がその償還計画に変動はないのかということについてもお伺いしておきたいと

思います。質問は1つですけれども、お二人からご返事いただければありがたいです。

○議長（寺島健一） 小西総務政策主監。

○総務政策主監（小西久次） それでは、私から若井議員さんのご質問に答えたいと思います。

まちづくり交付金制度はどういうものかということでございます。基本的に、全国の市町村では少子高齢化の進展に伴いまして、ある一定、中心市街地の活動の低下ならびに観光客の減少等、いろいろと地域独自の様々な課題を抱えているというところでございます。

申し訳ございません。若井議員さんの概ねの事業費ということで、前回それぞれの委員会の中でもお渡しさせていただいたと思いますけれども、現在のところ概ね10億円ということでございます。詳しくは10億6,850万円ということに今現在の計画はなっております。

しかしながら、これは平成20年度から平成24年度までの5カ年計画ということで竜王町の場合取り組みをさせていただいております。特に補助率につきましては40%の国庫補助がございまして、それから、起債につきましては全体事業費の45%ということでございまして、そのほかにおきましては一般財源ということになっております。

竜王町におきましては、先ほど申しましたように20年度から24年度ということで、今回補正をお願いしておりますものにつきましては、21年度に予定しておりました事業費の前倒しをさせていただくというふうな格好で進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上、お答えとさせていただきます。

○議長（寺島健一） 竹山町長。

○町長（竹山秀雄） 若井議員さんのご質問でございますけれども、このところの経済変化は本当に、誰も予想できなかったほどの落ち込みでございます。各自治体とも財政状況につきましては「厳しい」の一言、大変だということでございます。

そういった中にありまして、今度の武道交流会館の事業に関しましては起債はどうかと、こういうお話でございますけれども、やはり基本的には私、懇談会でも申し上げております。借金をやはり返済していかなければいけないと、これはもう基本姿勢に変わりません。

それから、現在、町は17億円ぐらいの基金を持っているわけでありまして。片方では68億円の借金がございます。以後につきましては、これは私の民間感覚でございますけれども、バランスシート・貸借対照表の意味におきまして、その半分という額ですと34億円ぐらいなるわけでありましてけれども、現在、17億円の基金とその差額ぐらいをできる限り早期に返済させていただいて、そしてバランスシートで半分ぐらいの実質的な負債という具合にもっていったらというのが、今のこの厳しさを判断させていただいての私の思いでございます。

ご理解いただきまして、今度の事業は21年度の計画であったわけでありましてけれども、皆様のご要望も強いということでございますし、今だったら何とか財政的にも可能ではなかろうかという判断のもとに答えを出させていただいたようなところでございます。以上、回答とさせていただきます。

○議長（寺島健一） 11番、若井議員。

○11番（若井敏子） 今のお答えによりますと、これから5年間に少なくともこの事業で4億5,000万円の起債をおこすことになるわけですね。

そうすると町長は、たまたまこれはすごいなと私は思ったのですが、もともと68億円の借金があって、今、基金が17億円貯まっているから、それで差し引きすれば、要はあと17億円、5年で半分にするとおっしゃっているのですから、5年間の間に17億円貯められたらそれでいいのだという話ですね。

そうすると、今の4億5,000万円がまたそこへ追加されることになりまして、借金を半分にすることとは、それ以後の借金を考慮していなかったということは当然言えませんから、だからそれも半分にすると、少なくともざっと20億円を今から5年の間に貯めなければならないと、そういうふうに理解してよろしかったのか、お伺いしておきます。

○議長（寺島健一） 竹山町長。

○町長（竹山秀雄） これからの状況がどのように変化するのか、私にも正確には読めませんが、思いといたしましては、今、若井議員さんからお話がありましたとおり、やはりバランスシートの、早期に半分ぐらいの実質負債にしていきたいという思いには変わりません。以上、お答えとさせていただきます。

（「5年でよかったですね」との若井議員の発言あり）

そのあたりは、私、5年とか6年とか、そういうことは今本当にお答えが難しいのですが、その方向で、できる限り早期にその数字が達成できるように取り組ませていただきたいということでご理解いただきたいと思います。

○議長（寺島健一） ほかに質疑はありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（寺島健一） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（寺島健一） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第3 議第1号を原案のとおり決することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（寺島健一） 起立全員であります。よって、日程第3 議第1号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第 4 議第 2号 平成20年度竜王町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)

○議長（寺島健一） 日程第4 議第2号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。竹山町長。

○町長（竹山秀雄） ただいま上程いただきました議第2号につきまして、提案理由を申し上げます。

議第2号、平成20年度竜王町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）につきましては、現在お認めいただいております補正予算（第1号）までの予算額が9,100万円でございます。今回、総額に歳入歳出それぞれ299万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9,399万3,000円といたしたいものです。

補正予算の内容といたしましては、まず歳入予算では、国庫支出金国庫補助金で、高齢者医療制度円滑運営費補助金として299万3,000円の増額でございます。

次に歳出予算では、総務費総務管理費で、後期高齢者医療の円滑な運営のため、後期高齢者医療保険業務における平成21年度制度改正に伴う電算システム変更委託料として299万3,000円の増額をお願いするものです。

以上をもちまして、議第2号、竜王町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の提案理由を申し上げたところでございますが、よろしくご審議を賜り、ご承認をいただきますようお願い申し上げ、提案理由といたします。

○議長（寺島健一） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（寺島健一） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（寺島健一） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第4 議第2号を原案のとおり決することに賛成諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（寺島健一） 起立全員であります。よって、日程第4 議第2号は、原案のとおり可決されました。

以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。竹山町長。

○町長（竹山秀雄） 閉会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、議員皆様にはご多用のところご出席を賜りまして、誠にありがとうございました。ご提案申し上げました2件の議案につきまして、慎重なご審議の結果、すべて可決を賜り、心より感謝いたしております。

開会のごあいさつでも申し上げましたが、今の不況は、過去の経験程度で乗り越えられるものではないと思っております。しかる時こそ、町民お一人お一人の思いをまちづくりのエネルギーへと結集していくことが一番の要点になるのではないかと考えております。

平成21年度の予算編成においては、厳しい財政状況ながら住民サービスが低下しないよう、全力を傾注いたしてまいる覚悟でございます。議員の皆様方には、荒波航海の竜王丸に面舵・取舵の格段のご指導とご鞭撻、さらにはご叱正のほどを心よりお願いを申し上げる次第でございます。

まだまだ、寒い日が続くことと存じますが、ご自愛いただきまして、お風邪等召されませぬよう念じ上げ、閉会のごあいさつとさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

○議長（寺島健一） これをもって、平成21年第1回竜王町議会臨時会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでございました。

閉会 午前11時40分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 寺 島 健 一

議会議員 小 森 重 剛

議会議員 若 井 敏 子